

桃 源

第 1 号

発 行 者

伊達市保原町上保原字上ノ原24-1

上 保 原 地 区 交 流 館

電 話 024-575-2556

編 集

上 保 原 地 域 づ くり 振 興 会



上保原地域づくり振興会設立総会

今年4月、地域の課題を共有し、住みよいまちづくりを進めるために設立された「上保原地域づくり振興会」が、「上保原地区交流館」の日常的な管理・運営と、貸出し業務を担当することになりました。今年度の事業は

一、交流館を拠点として、地域の人達が自由に利用出来る活力ある交流館の管理運営。

二、地域の伝統文化を継承し、地域の課題解決に取組み、魅力あふれるふる里づくり。

三、「自分の命は、自分で守る。自分たちの地域は、自分たちで守る。」という防災意識の普及啓蒙と、万が一の災害に備え、被害軽減を図るための自主防災組織づくりです。

「子供は地域の宝もの。お年寄りとは地域の財産です。」上保原にある小学校を、大柳にある中学校を守り、子供達が自慢出来るふる里上保原、安全で安心して暮らせる上保原地域づくりに、何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。

上保原地域づくり振興会の事業

振興会長 佐藤 裕二

自主防災組織とは



はじめに

- ・近年、地震や台風、豪雨・豪雪などで多くの尊い命や貴重な財産が失われています。
- ・県や市町村をはじめとする各防災機関は、災害に備えてさまざまな対策を実施しておりますが、実際大規模災害が発生した場合、その被害を最小限に食い止めるには、地域の皆さんによる防災活動が不可欠です。
- ・「自主防災組織」は、そのような地域の活動を効果的に行うための組織です。
- ・現在、伊達市内では36の自主防災組織が結成されています。
- ・「自主防災組織」を積極的に結成していただき、あらゆる災害へ対応できる「災害に強いまち」づくりへ地域の皆様の力を結集しましょう。

自主防災組織はなぜ必要か

- 大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。このような時、住民が一致協力し、地域ぐるみで取り組むことで有効な対策をとることができます。ここに自主防災組織の必要性があります。
- 阪神・淡路大震災では、救出された人たちの6割が、近所の方々により救出されたという報告があり、自主的な住民組織の有効性が改めて認識されています。

自 助

- 自助とは
自分の安全は、自分で守るのが、防災対策の基本です。
自分で、自分自身や家族・財産を守ることは災害に対する基本的な行動であり、その行動を自助（じじょ）と呼びます。



タイトルが決定

本誌のタイトル（誌名）を募集しましたところ、多くの方からご応募いただきありがとうございます。

関係者が応募作品を選考し、協議を重ね、春の上保原を彩る光景から「桃源」に決まりました。優秀作品は次の方がたです。

大河内 強 さん（神明町）
佐藤 信一 さん（黄金町）
佐藤 勝亮 さん（細田入）
佐藤 京子 さん（竹内町）
また、タイトルの「桃源」の揮毫は、水口康則さんの筆によるものです。

あとがき

試行錯誤の結果、ようやく発行することができました。この間、多くの皆さまから貴重なご助言やご指導をいただき感謝申し上げます。

今後とも、皆さまのご意見や情報の提供をよろしくお願い申し上げます。

また、今年度から上保原地区交流館の事務員に、佐藤昭子さん（黄金町）、島久美子さん（市柳町）が勤務しております。



地域づくり部会

文化祭等の祭典事業	文化祭や高子沼祭り等各地区祭典事業の支援
地域美化活動事業	駅、公園等クリーンアップ作戦や地域で実施する美化活動事業の支援
安心・安全の思いやり推進事業	見守り隊の思いやり事業運営の支援。情報交換会や各種講演会開催等の事業支援

地域づくりということばがはやされてから10年。政府も地方創生を唱え始め、1万円の旅行券を5000円で売り出したが、これで地方が発展するのでは苦勞はしない。

地方創生というのであれば、日本全体の長期的、均衡的な発展に帰納する政策を打ち出すべきと思う。

明治政府がやったことを全て肯定するつもりはないが、かなり地方重視の政策であったことは歴史が証明している。

学制はもとより、電信、郵便、鉄道、利水、鉄鋼、造船、海運、紡績等を国策として地方を発展させたのはみなさん承知のとおりです。

みなさんが楽しくなるようなこと。元気が出るようなこと。健康につながるようなこと。万が一、天災事変が発生したときは弱者を守り、助け合い、被害を最少に抑える。これらが満たされるようだが仕掛け、仕組んでやる。これが地域づくりというものではないかと思う。

困ったとき、苦しいときの助け合い精神は古い時代から先人の知恵として引き継がれて来たものが、高度経済の名のもとに薄れ、これに対応するかのようには地域づくりと称することは出て来たようだ。

相手を知り、自分を知ってもらうことが、事を円滑に運ぶ一義的なものと考え、当部会では27年度重点施策として、上保原全体の懇談の場を設定することとしました。

この中から、地域の話題、動きなどを共有し、更には、輪和の絆をかため、みなさんが心豊かになる方向を見い出そうと思います。



上保原小学校大運動会

環境防災部会

防火・防犯活動	火災予防や各種防犯防災活動など住民参加のイベント事業運営の支援
交通事故防止活動	交通事故防止や救急救命講習会など住民参加のイベント事業運営の支援
自主防災組織づくり	自主防災組織を結成し、資器材の整備や危険箇所、避難場所把握など平常時活動と消火、避難誘導訓練など災害時活動による地域防災力の向上確立

環境防災部会の事業目標は、防災計画を作成し自主防災組織を結成することです。最近の天候異常は急激な気温上昇、ダウンダストによる暴風、豪雨による洪水被害等が報道されており、私たちの意識も、最寄りの「避難場所は」「問い合わせ先は」と災害について確実に関心が高まっています。

日常の会話の中にも「青い屋根が飛んで来たらどこに逃げるかな」とか「道路が川のようにになったら」と心配する言動が聞かれます。

それには日ごろから、いざという時に落ち着いて行動できるように、正しい防災知識を身につけておくことが大切です。

防災組織づくりもその一つです。

地域住民が力を合わせ自主防災組織を結成し防災について、必要事項を定めて、被害を最小限に軽減できれば、安全安心な生活が送れると思います。

最初は解り易く簡単なもので良いでしょう。組織編成では、防災長には現役又は経験者を選び、大事なことは情報収集にあるので担当地区の被害状況を把握し、報告伝達の広報活動を適切に出来ることですから、生活弱者（高齢者と子供）を安全な場所へ避難させること。

地域住民が「自らの命と地域は自分たちで守る」という意識の高揚が大事です。

結成後は資器材の整備や危険箇所等の把握など平常時活動と避難誘導訓練などに取り組んで、災害時活動による地域防災力の向上につとめてまいります。

防災会の組織編成に当たっては各町内会、各種団体の役員の皆さま方のご協力をお願い申し上げます。



自主防災組織づくり会議

地域づくり部会 小林 耕喜

本 会



交流館運営検討会議	「上保原地区交流館」に係る運営検討会議の開催
総会、役員会の開催	総会及び定例役員会並びに専門部会等を随時開催
自主防災組織づくり	自主防災組織結成と訓練及び合同演習の開催

総務企画部会

生涯学習事業	サークル活動や各種学級活動等生涯学習事業推進
座談会の開催	地域の課題を解決するための座談会開催
広報活動事業	地域情報誌の発行等による情報共有広報活動支援

私たちの暮らす「かみほばら」には、長年にわたり地域に根付いた伝統と、脈々と伝えられてきた美しい文化が培われていきます。

しかしその地域も、時代の進展や社会経済情勢により、大きく変わったところもあります。

上保原は、歴史文化の豊かなところと、新しく発展が進んでいるところとが融和している地区です。このすばらしい上保原を、さらに心豊かな地区にするか、どのような地区にしたいのか、これを皆さんと共に築いて行く組織が地域振興会です。

総務企画部会は、ほかの部会と連携をしながら、皆さんの意見や要望などが各種活動に反映できるよう、努めて行きたいと思っています。

また、今までの各種団体やサークルでの諸行事がますます円滑に活動できるように、協力体制を整えて行くよう進めて行きます。

総務企画部会 佐藤 俊一



宮城県丸森町筆南地区への視察研修

健康福祉部会

児童及び青少年の健全育成事業	子ども達と親御さんが触れ合える交流事業や児童及び青少年健全育成事業の推進
高齢者福祉交流事業	独居老人世帯見守り訪問など、高齢者が健康で安心して暮らせる福祉交流事業の支援
健康都市推進事業	ウォーク大会や各種スポーツ大会等住民参加の健康福祉事業の推進

◆児童及び青少年の健全育成事業として
ボーリング大会
地域の子供たち、親子の触れ合いなどのコミュニケーションの機会を提供する。

◆高齢者福祉事業として
平成27年度出前講座の健康・元気・安心づくりを実施
日本人一人当たりの薬代5300円、国民全体の薬代8・4兆円、後期高齢者6種類以上の薬を飲んでいる割合が36パーセントに達している（最近の労働省の調べ）
医療問題が浮上している今、伊達市健康都市づくり課より、出前講座を依頼実施したい。

◆健康都市推進事業
高子二十境探勝ウォーキングの実施
上保原地区には歴史ある、高子二十境めぐりコースがあるので、多くの方に声をかけ地域の皆さんに参加をお願いします。

健康福祉部会 八島 伝蔵



8月2日の歩こう会

昨年九月、地域振興会の組織化が保原町内各地域で進められ、上保原においても交流館と連携を図りながら組織や運営方針等について検討が重ねられ、このほど「上保原地域づくり振興会」が発足しました。今回は、その概要を紹介いたします。